

事務事業名		きのこ原木等処理事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目				
	施策名	20 地域の特性を生かした農林業の振興					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	03 林業の振興					01	06	02	02	10
根拠法令											
所 属	部課名	農林水産部農林課			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 24 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
	課長名	尾坪 明									
	係 名	林業係	電話	27-3111							
	担当者	佐藤 類	内線	7127							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
きのこ原木等処理 業務委託による、ほだ木の、林縁での一時保管並びに、落葉層の除去、一時保管を実施し。出荷制限指示の解除要件を整える。					総 投 入 量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0				
							人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0			
								トータルコスト(A)+(B) 0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位 ア ほだ木の移動及び一時保管数 本 イ 落葉層の除去及び一時保管数 m ³ ウ	
前年度実績(前年度に行った主な活動) ほだ木の、移動及び一時保管(9生産者 33,063本)			
今年度計画(今年度計画している主な活動) ほだ木の、移動及び一時保管(34生産者 147,680本) 落葉層の除去及び一時保管(15生産者 60,000m ³)			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
生産者		名称 単位 カ 生産者 人 キ ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
指標値超過したきのこ原木等を処理することにより、生産を再開する		名称 単位 サ 出荷再開生産者 人 シ ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
安定して林業を営む			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	単位						
		千円						
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円		1,018	3,075	50,311		
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	0	1,018	3,075	50,311	0	0
人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1		
	延べ業務時間	時間		480	480	480		
	人件費計(B)	千円	0	1,920	1,920	1,920	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	2,938	4,995	52,231	0	0
⑤活動指標	ア	本		11,550	33,063	147,680	0	0
	イ	m ³		0	0	60000	0	0
	ウ							
⑥対象指標	カ	人		3	9	60	0	0
	キ							
	ク							
⑦成果指標	サ	人		0	0	9	9	9
	シ							
	ス							

事務事業ID	1578	事務事業名	きのこ原木等処理事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 東京電力原子力発電所の事故に伴う放射性物質の影響を受け、出荷制限指示の対象となった岩手県内の市町村のきのこ（原木露地栽培しいたけ）の生産再開のため、「きのこ原木及び菌床用培地の当面の指標値の設定について」（平成23年10月6日付け23生産第4734号、23林政経第213号）により示されたきのこ原木及びびだ木の当面の指標値を超過しているきのこ原木等処理を進めるため岩手県きのこ原木等処理事業が平成24年10月12日で施行された。			
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 出荷制限指示時には、不透明であった出荷制限の一部解除の要件が示され、指標値超過ほだ木並びに落葉層の除去が出荷制限指示の一部解除並びに生産再開において必須となった。			
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 出荷制限指示の一部解除にむけ、迅速な対応を求められている。			

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 今事業完了は、出荷制限の一部解除における要件のひとつであり、政策体系と結びついている。	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市が事業主体となり、処理事業を進めることにより迅速な対応が出来る。また、当事業は、岩手県の10/10補助事業であり、事業費については、岩手県が東京電株株式会社に対し、損害賠償請求するものである。	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 出荷制限の一部解除による生産再開が目的であり、対象は適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 出荷制限の一部解除による生産再開が目的であり、成果の向上余地はない。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 指標値を超過したきのこ原木等の処理は、出荷制限指示の一部解除の要件のひとつであり、廃止・休止は出来ない。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なく統廃合の余地がない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は一時保管にかかる委託費であり、その大部分が、資材費となっている。一時保管の対象となっているきのこ原木等は、高濃度の放射線物質を含むことから、適正な一時保管を行うためには事業費の削減は出来ない。	
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業執行に係る事務職員の人件費であり、削減の余地がない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 指標値を超過したきのこ原木等の処理は、東京電力株式会社の損害賠償対象経費であり、生産者にかわり市事業主体として処理を実施することは、一部の受益者に偏ったものとはならない。	

事務事業ID	1578	事務事業名	きのこ原木等処理事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	9生産者の33,063本のほだ木を一時保管処理を行った。残本数及び落葉層の除去並びに跳ね返り防止資材の敷設については、翌年繰越事業となったことから、全量処理に向け、計画的に事業の進捗管理を行う。																		
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																	
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 34生産者の147,680本の一時保管並びに、9生産者のほだ場における落葉層の除去並びに、跳ね返り防止資材の敷設を実施する。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		●	×	低下		×	×
		コスト																	
		削減	維持	増加															
成果	向上維持		●	×															
	低下		×	×															
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 放射線物質汚染によるものであることから、見通しが立たない状態である。																			

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長	尾坪 明
-------	------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																			
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☒ 一部に客観性を欠いたところがある ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																			
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																	
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		適切な事務執行がなされている。																	
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																	
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事業を実施する。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		●	×	低下		×	×
		コスト																	
		削減	維持	増加															
成果	向上維持		●	×															
	低下		×	×															

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
